

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務課 広報広聴係 ☎75-2280 / FAX75-2110



▲林姫の父の命
令で江戸から
やってきた使
者に追い詰め
られ自害する
林姫



▶与えられた
命の大切さ
を表現した
フィナーレ

子どもから大人まで幅広い団員で構成され、市内外で活動する市民ミュージカル劇団『多久ミュージカルカンパニー』の4回目となる定期講演会が、4月19日と20日、中央公民館で開催され、1,100人以上が来場しました。

今回の定期公演では、許されぬ恋に落ち、身籠った子どもとともに自害した多久町の西ノ原大明神に伝わる『林姫』伝説を通じて、愛、そして与えられた命の大切さを説く内容で構成。

林姫伝説を劇で披露することになった生徒たちは、衝突や友情を通じて、やがて人を愛し、命を育むことの貴さに気づきます。

公演で林姫を演じた多久高2年の松尾夏樹さんと中央校9年(中学3年)岸川心さんは「身籠った林姫を演じるのは難しかったです。林姫の嘆きを表現できました」、「林姫と生徒の二人を演じましたが性格の違いや女性らしさなど練習の成果を発揮できたと思います」と公演を振り返りました。

多久ミュージカルカンパニー 第4回定期公演

『林姫伝説』を通して、愛、そして与えられた命の大切さを伝えたい

東部校7年(中学1年)の樋口結花さんが3月22日~23日に千葉県で開催された『クライミング日本ユース選手権2014ミレーカップ』の女子アンダーユースB(平成13年~平成14年生まれ)の部門で見事優勝を果たしました。

大会は予選、決勝の2ラウンド制で行われ、樋口さんは予選を3位で通過し、10人で争う決勝に進出。決勝では難易度の高い小さめのホールドが続く中、持ち前の保持力と、粘り強さを見せ、トップで競技を終えました。

樋口さんは「得意なホールドが続き、結果につながりました。まだまだルートでの動きなど課題もありますが、練習を重ねて頑張ります」と今後の抱負を語りました。

父で監督の樋口義朗さんは「積極的な姿勢や、体幹力などフィジカル面の強化が課題です。まずは6月に長崎で開催されるジャパンカップに向けて頑張してほしい」と大会を振り返りました。



▲「次の目標はジュニアオリンピックです」と意気込みを語る樋口結花さん



▶父義朗さんのサポートでウォーミングアップする結花さん

持ち前の保持力と持久力を発揮し見事全国優勝!

クライミング日本ユース選手権2014ミレーカップ

4/14 多久市防災訓練を実施

災害対策本部の運営、避難勧告の発令、情報伝達、要援護者対策等の訓練を目的に、国土交通省、小城警察署、多久消防署、多久市消防団、多久市の担当者が参加して、市役所で防災訓練を行いました。



訓練では、大雨洪水警報および土砂災害警戒情報発令を受けて各対策部ごとに関係機関との連絡体制を確認。市内各地区からの災害情報の報告、交通規制、避難勧告の発令と避難所の開設、運営など災害対応について実際の災害を想定して実施し、的確な連絡体制、各関係機関との連携を確認しました。

4/11 子どもたちを安全に 防犯ブザー贈呈!

多久地区防犯協会連合会が、市内3小学校の新入生に、防犯ブザーを贈呈しました。

西深校で行われた贈呈式では、横尾市長が「助けてほしいときにはブザーを使って身を守ってほしい」と児童代表の古賀翔子さん、新矢寺妃織さんにブザーを贈呈しました。



また、小城警察署多久幹部派出所の黒木昭彦所長が「一人で遊ばない」「知らない人にはついて行かない」など身を守る方法を呼びかけました。